

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福岡県 】

久留米市立大城小学校

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	久留米市立大城小学校 1年～6年(児童数225人)
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (O) 体育・学級活動 ② 行事名 (O) 持久走記録会・スポーツ集会 ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	① オリンピック出場経験者の話（オリンピックに込めた思い、スポーツマンとして大切なこと等）を聞いたり、長距離を走るための実技指導を受けたりすることを通して、オリンピックへの関心やスポーツに親しみを持つことができる。 ② 3メートルの縄やスカットボーイを活用した自分たちでできるオリンピックの新種目を考えることを通して、オリンピックを身近なこととして考えることができる。
5 取組内容	◆持久走記録会に向けて◆ 参加者 5・6年 67名 日本女子陸上長距離・マラソン選手。元女子マラソン日本記録保持者の小鴨由水さんを招いての取組を行った。 (1) 講話 ・陸上をはじめたきっかけ ・中学校や高校での部活の様子 ・オリンピック選手に選出されるまでの経緯 ・マラソン（陸上）への思い等



(2) 実技指導

- ・準備運動の仕方
- ・足の上げ方や腕の振り方
- ・マラソンに対する意気込み等



◆オリンピックの新種目の創造◆

オリンピック種目に興味を持ってもらおうと、「もし、オリンピックの新種目ができるとしたらどのような種目ができそうか」と子ども達に提案した。子ども達は、話し合いの中で、①運動会の大縄綱引きをヒントにして、短い縄（カラーロープ）を使って新種目ができると楽しい。少人数でも楽しめる。という意見を基にして、『ショート綱引き』を考えていった。②オリンピック種目のやり投げからヒントにして、『スカットやり投げ』を考えていった。



『ショート綱引き』では、左の写真のように、体育の時間を使って実践していった。「チームワークが大切」「オリンピック種目になるといい」等の感想があった。また、本校におけるスポーツ集会の種目として選定し、活用している。



『スカットやり投げ』では、左の写真のように、2年生と4年生の仲良し縦割り班活動において、実践していった。「投げると音がして楽しい。」「4年生に投げ方を教えてもらったので、遠くまで投げることができた」等の感想があった。

◆オリンピック・パラリンピックコーナーの設置◆



左の写真のように、校長室前の廊下に『オリンピック・パラリンピックコーナー』を設置した。2020エンブレムの紹介やオリンピック・パラリンピックに関する資料や新聞記事を掲示したことで、オリンピック・パラリンピックに興味を持つことができた。

<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小嶋さんから、オリンピックに込めた思いやスポーツの楽しさに関心を持ってほしい等の話を聞いた。その後、持久走における実技指導を受けた。子ども達は、オリンピック出場経験のある小嶋さんの話を聞くことで、オリンピックを身近に感じ、興味・関心を持つことができた。また、実技指導では「準備運動の仕方」「腕の振り方」など教わった。子ども達は、「教わったことを12月の持久走大会に生かしたい」「走ることの楽しさを大切にしたい」等の感想が出され、スポーツの楽しさを実感することができた。 ○ オリンピックの新種目の取組においては、自分たちが考えたオリジナル種目を自分たちが実践したことで、オリンピックを身近なこととして感じ取り、スポーツの楽しさを味わうことができた。 ○ 学校の掲示板を活用して、オリンピック・パラリンピックコーナーの設置をしたことや東京2020のマスコットを決める活動を行ったことで、遠い存在のオリンピックをより身近なこととしてとらえることができた。
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ オリンピック出場経験者招聘においては、学校行事(持久走記録会)との関連を図ったこと。 ○ オリンピック・パラリンピックをより身近で運動の楽しさを実感するために、「オリンピック・パラリンピックコーナーの設置」「オリンピック新種目を考える活動」を位置づけたこと。
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ オリンピック・パラリンピックにおける興味・関心を持続させることやスポーツが苦手な子どもに対しての支援の在り方 ○ オリンピック出場経験者(現役)を招きたい。
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今回購入したカラーロープやスカットボーイの活用の仕方の工夫 ○ オリンピック・パラリンピック推進事業の継続(予算化)